

国際第2委員会 活動紹介

1. 活動方針

- ・欧州/アフリカの特許権取得/活用、PCT制度の調査/研究と会員への情報提供
- ・政策プロジェクトとの連携による国際調和に向けた調査・検討、意見発信

2. 活動対象地域：重要地域が目白押し！

- ・経済連携/広域特許の先駆者 欧州 (UPC/EPC/各国)
- ・利用率急上昇中 WIPO (PCT)
- ・次はここだ！時代を先取り アフリカ (広域/各国)

3. これまでの活動実績（一部のみ紹介）

◆対内情報発信（実務に役立つ情報を会員に発信）

2012年度：PCT出願の国際段階における補正等手続の有効性

2013年度：ロシア調査団報告

◆対外情報発信

《WIPO会合》PCT-WG@ジュネーブ 《三極会合/五極会合》各国にて開催。

《各国庁との連携》EPO Quality Meeting, WIPOとの意見交換, JPO意見交換 他

《セミナー登壇》EPO Symposium, WIPOグローバルビジネスセミナー

国際第2委員会 第1小委員会

「資料」欧州特許を上手に取得する方法」改訂」

狙い： 資料「欧州特許を上手に取得する方法」を、日本ユーザにとってより使いやすい資料を目指して、改訂する（複数年計画）。

内容： 次の中テーマを検討中。

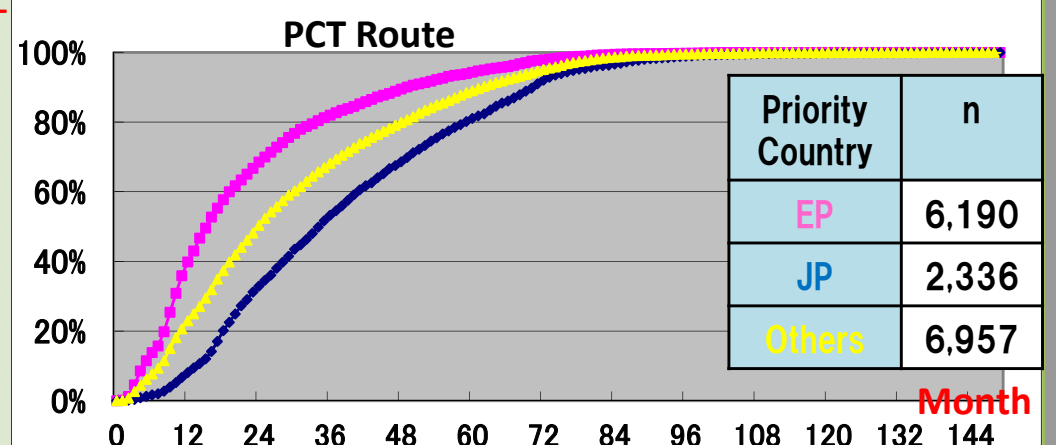
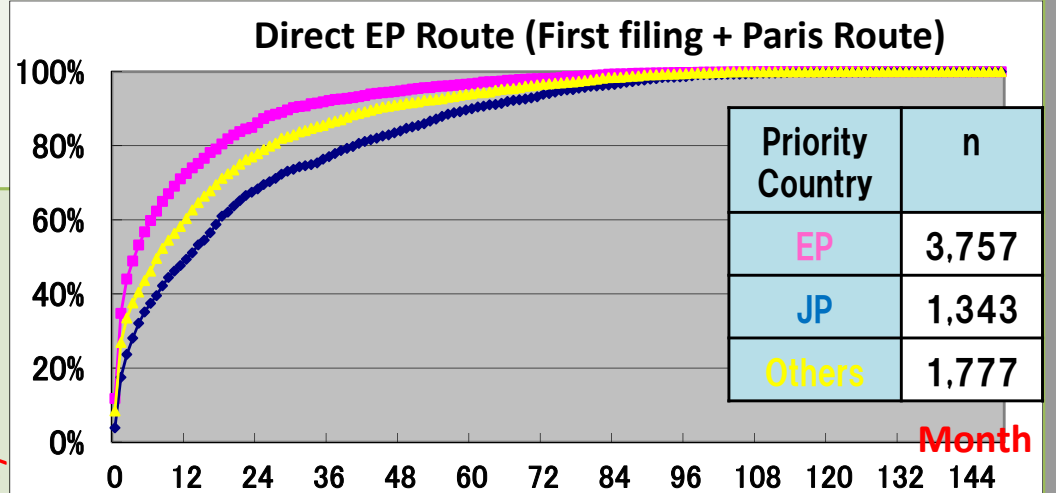
- ① 欧州特許制度と各国特許制度の制度比較を行い、出願戦略・事業戦略を提案する。
- ② 欧州に特徴的な審査について検討し、欧州審査の上手な対応を提案する。



例えば、審査請求から最初のオフィスアクションまでの期間（出願人による違い）を調べてみました。

- データベース：INPADOC
- 2014年1月1日～9月24日 欧州特許公報発行分
- EPO審査部からのOAが発行された案件
- 分割出願を除く

Request for examination - the Examining Division's 1st O.A.



国際第2委員会 第2小委員会 「アフリカ諸国の特許取得・活用に関する検討」

◆活動内容

経済発展が進むアフリカ諸国の特許制度や訴訟制度などから知財環境を把握すると共に、各企業の抱える課題を把握して、その解決に向けた調査・研究

◆検討

- ・アフリカ諸国での知財環境、経済状況の把握
- ・日本企業のアフリカ諸国での知財活動(活用)における課題抽出

◆来期

- ・アフリカへの調査団派遣と調査報告書まとめ



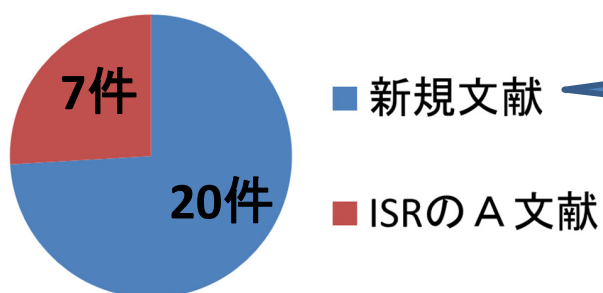
WIPOアフリカセミナーに参加して人脈形成

国際第2委員会 第3小委員会 「PCT国際調査報告(ISR)非追認の原因調査」

◆狙い

- ・ISRが肯定的であっても移行後審査において拒絶が発生する実態と原因を調査しPCT実務強化や制度改善提言に活かす。
⇒ 非追認の原因: 引例言語の壁? ISRサーチ範囲? 同じ文献の解釈相違?

◆予備結果の一部: JPO作成ISR(A)⇒EP移行後のFA(X)27件のX引例実態



同文献の解釈相違 <<新引例引用

- ・JPファミリー無: 6件
- ・ISRサーチ外: 8件
- ISRサーチ外且つJPファミリー無: 4件

JPファミリー有無は、EspacenetのINPADOCファミリーを参照して判定した。新引例のIPCが、ISRの「調査した最小限資料」のIPCに属さない場合、ISRサーチ外と判定した

◆調査中

- ・調査サンプル数を増やしつつ、ISR非追認の実態と原因を日本の出願が欧米の出願よりも大きく上回る分野と、その逆の分野と間で、比較分析